



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
コード番号 4290 URL <http://www.prestigein.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 玉上 進一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中山 克哉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,556	11.0	703	15.5	784	57.0	537	△2.5
26年3月期第1四半期	5,007	△15.5	609	12.7	499	△12.3	550	62.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 462百万円 (△0.7%) 26年3月期第1四半期 465百万円 (146.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	17.48	17.20
26年3月期第1四半期	18.43	18.06

当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,182	13,775	75.4
26年3月期	18,613	13,466	72.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,704百万円 26年3月期 13,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	5.00	—
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、26年3月期における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	10.3	1,300	1.5	1,300	9.5	850	△15.4	27.66
通期	24,500	10.2	3,000	6.8	3,050	12.8	2,000	0.9	65.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	30,735,600 株	26年3月期	30,729,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	60 株	26年3月期	60 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	30,732,744 株	26年3月期1Q	29,898,018 株

当社は、平成25年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成26年7月30日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

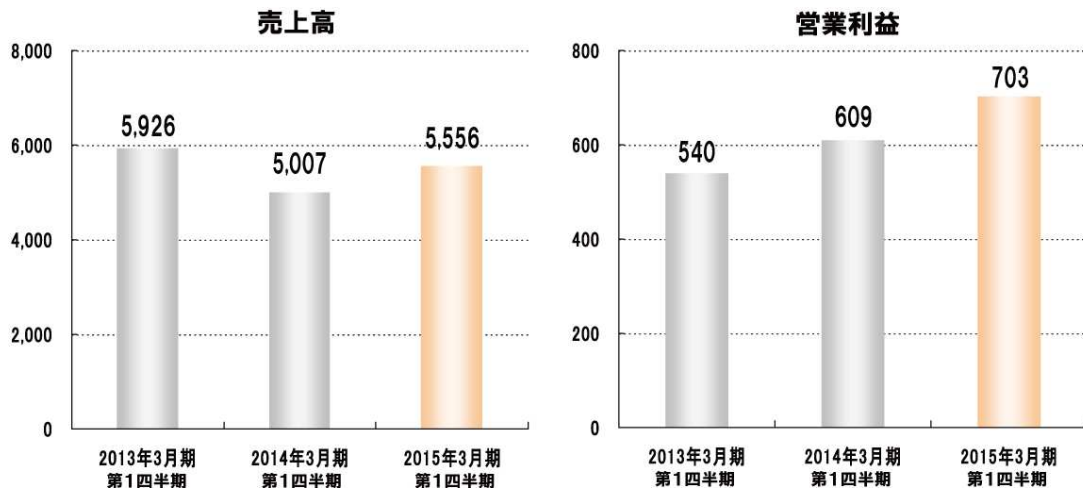
当第1四半期(平成26年4月1日～平成26年6月30日)における日本経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が懸念されましたが、政府による財政・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の金融緩和縮小や新興国の経済成長鈍化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、グループ全体としましては、中期事業方針にのっとり、国内においては秋田BPOキャンパス・山形BPOガーデン・富山BPOタウンの3拠点運営に向けた体制構築、海外においてはインシュアランスBPO事業における業務拡大に備えた体制強化に注力してまいりました。

当第1四半期の連結売上高に関しては、主にロードアシスト事業及びインシュアランスBPO事業において既存受託業務を中心に事業が堅調に拡大したことにより5,556百万円(前年同期比11.0%増)となりました。利益面におきましては、原価抑制などの取り組みが寄与し、営業利益は703百万円(前年同期比15.5%増)となりました。経常利益につきましては、持分法投資利益20百万円及び為替差益50百万円の計上により、784百万円(前年同期比57.0%増)となりました。なお、当第1四半期純利益は、投資有価証券売却益の影響がなくなったことから、537百万円(前年同期比2.5%減)となっております。

	前第1四半期	当第1四半期		参考 前連結会計年度
売上高	5,007百万円	5,556百万円	(前年同期比11.0%増、549百万円増)	22,223百万円
営業利益	609百万円	703百万円	(前年同期比15.5%増、94百万円増)	2,809百万円
経常利益	499百万円	784百万円	(前年同期比57.0%増、284百万円増)	2,704百万円
四半期(当期)純利益	550百万円	537百万円	(前年同期比2.5%減、13百万円減)	1,981百万円
1株当たり当期純利益	18.43円	17.48円		65.59円

当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



下記、事業分類別の売上高ならびに営業利益の実績は、平成26年4月に実施した新事業分類別変更に基づき算出しております。また、前第1四半期の実績も新事業分類別変更に基づき遡及しております。これらは、下記の通り事業の特性を考慮し、事業の名称・分類変更及びサービスの変更を行っております。

<名称変更・分類変更>

旧：インシュアランス事業 新：「インシュアランスBPO事業」、「ワランティ事業」に分割
 旧：CRM事業、カード事業 新：「カスタマーサポート事業」へ統合
 旧：IT事業 新：「ITソリューション事業」へ名称変更

<サービス変更>

旧：「クレームエージェントサービス」「ヘルスケア・プログラム」：インシュアランス事業からインシュアランスBPO事業へ
 旧：「延長保証・メンテナンスプログラム」「家賃保証プログラム」：インシュアランス事業からワランティ事業へ
 旧：「事故受付業務」：一部プログラムをCRM事業からロードアシスト事業へ
 旧：「通所介護支援サービス」インシュアランス事業から派遣・その他事業へ

● ロードアシスト事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供しているロードアシスト事業は、認知度の向上及びサービス利用増加など既存受託業務が順調に拡大したことに加え、新規受託業務の開始により、増収となりました。

営業利益につきましては、サービス利用に伴う費用の抑制やシステム化による手配工数削減など原価管理の徹底が奏功し、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	1,692百万円	1,930百万円
営業利益	172百万円	260百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+237百万円	+14.1%
営業利益	+88百万円	+51.3%

● プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティアシスト事業は、不動産向けサービス（ホームアシスト）ならびに駐車場管理会社向けサービス（パークアシスト）における既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、フィールドワーク専門子会社において拠点拡充や機能強化のための先行投資が発生したものの、売上高の拡大や費用の低減などにより、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	575百万円	632百万円
営業利益	28百万円	48百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+56百万円	+9.8%
営業利益	+19百万円	+68.8%

● インシュアランスBPO事業

保険に関するサービスを提供しているインシュアランスBPO事業は、海外関連事業（クレームエージェントサービス、ヘルスケア・プログラム）が堅調に拡大したことにより、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大に加え、間接費用の抑制を行ったことなどから、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	557百万円	676百万円
営業利益	86百万円	111百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+118百万円	+21.3%
営業利益	+24百万円	+28.4%

● ワランティ事業

保証に関するサービスを提供しているワランティ事業は、主に家賃保証プログラムが好調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、主に自動車延長保証・メンテナンスプログラムにおける既存受託業務の終了と新規プロジェクトの立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	726百万円	751百万円
営業利益	65百万円	14百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+25百万円	+3.5%
営業利益	-51百万円	-78.2%

● ITソリューション事業

ITソリューション事業におきましては、IT関連子会社において、既存受託業務が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大と原価管理の徹底が奏功し、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	172百万円	225百万円
営業利益	23百万円	32百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+53百万円	+30.8%
営業利益	+8百万円	+36.3%

● カスタマーサポート事業

国内のカスタマーコンタクトサービスと日本人駐在員向けクレジットカードサービスを展開しているカスタマーサポート事業は、主に日本人駐在員向けクレジットカードサービスが安定的に推移したことが寄与し、増収となりました。

営業利益につきましては、カスタマーコンタクトサービスにおいて、事業の「選択と集中」により、一部業務を終了した影響によって、減益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	1,116百万円	1,122百万円
営業利益	217百万円	206百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+5百万円	+0.5%
営業利益	-11百万円	-5.3%

● 派遣・その他事業

派遣・その他事業におきましては、株式会社プライムアシスタンスに対する人材派遣業務が好調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大と間接費用の抑制により、大幅に増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	166百万円	218百万円
営業利益	14百万円	30百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+51百万円	+30.8%
営業利益	+15百万円	+106.0%

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第1四半期末における総資産は、18,182百万円となり前連結会計年度末に比べ431百万円減少となりました。流動資産は、現金及び預金が315百万円減少、有価証券が243百万円減少し、503百万円減少いたしました。固定資産については、前連結会計年度末に比べて72百万円増加いたしました。

負債に関しましては、支払手形及び買掛金が319百万円減少、未払法人税等が552百万円減少となりました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より740百万円減少し、4,406百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが平成26年6月に発生いたしましたが、四半期純利益が537百万円であったため前連結会計年度末に比べ309百万円増加しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,503,630	6,187,793
受取手形及び売掛金	2,833,136	2,799,557
有価証券	465,670	221,759
商品及び製品	22,639	18,983
原材料及び貯蔵品	4,941	4,049
立替金	2,269,247	2,384,009
その他	1,104,681	1,085,720
貸倒引当金	△66,515	△68,397
流動資産合計	13,137,431	12,633,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,566,805	2,523,805
その他(純額)	666,640	681,321
有形固定資産合計	3,233,446	3,205,127
無形固定資産		
その他	789,333	797,247
無形固定資産合計	789,333	797,247
投資その他の資産		
その他	1,503,873	1,596,352
貸倒引当金	△50,295	△49,974
投資その他の資産合計	1,453,577	1,546,378
固定資産合計	5,476,357	5,548,753
資産合計	18,613,788	18,182,229

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,660	855,871
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	710,990	158,005
賞与引当金	377,564	168,871
その他	2,205,516	2,536,809
流動負債合計	4,569,731	3,819,558
固定負債		
退職給付に係る負債	83,282	2,275
資産除去債務	357,634	359,185
その他	136,888	225,686
固定負債合計	577,805	587,148
負債合計	5,147,536	4,406,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,125,877	1,127,123
資本剰余金	694,758	696,005
利益剰余金	10,936,083	11,319,784
自己株式	△41	△41
株主資本合計	12,756,678	13,142,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,985	160,104
為替換算調整勘定	466,270	401,641
その他の包括利益累計額合計	637,256	561,745
新株予約権	9,839	9,824
少数株主持分	62,477	61,081
純資産合計	13,466,251	13,775,523
負債純資産合計	18,613,788	18,182,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,007,444	5,556,621
売上原価	3,836,693	4,246,576
売上総利益	1,170,750	1,310,044
販売費及び一般管理費	561,543	606,709
営業利益	609,206	703,335
営業外収益		
受取利息	1,991	752
有価証券利息	7,176	7,509
受取配当金	4,078	2,704
持分法による投資利益	—	20,557
為替差益	—	50,765
その他	1,040	2,181
営業外収益合計	14,286	84,470
営業外費用		
支払利息	296	134
持分法による投資損失	32,603	—
為替差損	82,839	—
固定資産除却損	3,542	1,204
その他	4,741	2,201
営業外費用合計	124,023	3,539
経常利益	499,469	784,266
特別利益		
固定資産売却益	4,711	2,097
投資有価証券売却益	429,773	—
補助金収入	295	2,195
特別利益合計	434,780	4,292
特別損失		
固定資産売却損	672	77
固定資産圧縮損	295	2,195
違約金	1,942	—
特別損失合計	2,909	2,272
税金等調整前四半期純利益	931,339	786,286
法人税、住民税及び事業税	327,562	137,349
法人税等調整額	50,095	110,985
法人税等合計	377,657	248,334
少数株主損益調整前四半期純利益	553,682	537,951
少数株主利益	2,798	603
四半期純利益	550,883	537,348

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	553,682	537,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△264,859	△10,880
為替換算調整勘定	176,868	△64,629
その他の包括利益合計	△87,990	△75,510
四半期包括利益	465,691	462,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462,892	461,837
少数株主に係る四半期包括利益	2,798	603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。